

平成18年度
主な施策の成果

— 玉 城 町 —

< 目 次 >

■ 一般会計	．．．．．	P 1	～
第 2 款	総務費	．．．．．	P1 ～
第 3 款	民生費	．．．．．	P5 ～
第 4 款	衛生費	．．．．．	P11 ～
第 6 款	農林水産費	．．．	P14 ～
第 7 款	商工費	．．．．．	P16 ～
第 8 款	土木費	．．．．．	P16 ～
第 9 款	消防費	．．．．．	P19 ～
第 10 款	教育費	．．．．．	P20 ～
第 12 款	公債費	．．．．．	P22 ～
■ 国民健康保険特別会計	．．．．	P23	～
■ 老人保健特別会計	．．．．．	P28	～
■ 山村振興事業特別会計	．．．．	P29	～
■ 農業集落排水特別会計	．．．．	P30	～
■ 介護保険特別会計	．．．．．	P31	～

< 有効性 >

- A 十分な効果があり、やり方も望ましく実施できた
- B 効果は得られたが、もう少しやり方を工夫すればより良くなる
- C 期待する効果は得られなかったものの、やり方は望ましい
- D 事業の見直しが必要
- E 事業の休止又は廃止が必要

< 達成度 >

- ◎ 目標を超えて達成できた
- 目標どおり達成できた
- 目標近く達成できた（達成度 80%程度）
- △ 目標には及ばなかった
- × 全くできなかった

※この資料は、平成18年度施策の主な成果を記載したものであり、決算額合計と一致しない部分があります。

一般会計

款 2 総務費 項 1 総務管理費 目 1 一般管理費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	217,738	159,530
決算額	215,401	158,103

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	173	463	903	156,564
本年		713	916	213,772
前年				

総務チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
1 田丸城築城670年事業	346	田丸城築城670年を記念し、ウォーキングイベント、記念展、お城の再現・ライトアップ(商工会実施)など16の事業を展開し、約9,500人の参加を得ることができた。また、これを契機に城址を歴史・文化遺産としての保存はもとより、町民ふれあいの場としての活用を今後検討して行く。	◎	A
2 一般管理広報経費	226	○情報公開制度、個人情報保護制度 適切に情報公開を行い、個人情報は的確に保護を行っている。 ・情報公開請求:126件 ・目的外利用許可:7件 ○情報の公開性維持のためのシステム管理、また適切な文書廃棄を行った。	○	A

款 2 総務費 項 1 総務管理費 目 2 文書広報費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	4,513	4,789
決算額	4,456	4,728

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		7		4,721
本年		3		4,453
前年				

総務チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
1 広報紙発行経費	4,708	○「広報たまき」の発行 ・毎月発行(年計12回、各号4,700部) ・町政の方針、事業計画概要および行事予定等広く町民に報せている。 ・編集は各チームの編集委員が情報収集、取りまとめを行い、編集委員会で協議・検討している。 ・自治区(区長)の協力のもと、全戸に配布している。また、区に属さない世帯も臨時職員により各戸配布している。 ○町勢要覧作成(必要なときに、必要な人が、必要なだけ利用できることがコンセプト) ・これまでの町勢要覧の取扱や使用を勘案したうえで、成果品(冊子媒体)としての納品ではなく、インターネット上への掲示およびグループウェア内において掲示し、利用者への利便性を図っている。	○	A

款 2 総務費 項 1 総務管理費 目 3 財政管理費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	21,616	21,866
決算額	21,510	21,695

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				21,695
本年				21,510
前年				

総務チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
1 財政電算化事業	6,073	ノートパソコン13台、デスクトップパソコン2台、モノクロプリンター9台を購入し、電算処理業務の効率化を図った。	○	A

款 2 総務費 項 1 総務管理 目 5 財産管理費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	53,589	37,989
決算額	52,515	10,434

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			4,492	5,942
			2,115	50,400

総務チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
1 玉城町役場庁舎ダクト清掃工事	12,634	今後の庁舎の老朽化に備えるとともに、維持管理費用もかさむ恐れがあるため、庁舎を適正に使用できるように保ち、役場の業務に支障をきたさないよう空調ダクトの清掃を行った。	○	A

款 2 総務費 項 1 総務管理費 目 6 企画費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	3,525	1,807
決算額	3,468	1,778

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	375			1,403
	350			3,118

総務チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
1 企画経費	1,558	伊勢志摩地区広域市町村圏協議会、宮川流域ルネッサンス協議会、みらづくり委員会などの構成町として各会に参画し、広域エリアの振興・活性、課題解決などのため活動を行なった。	○	B
2 新総合計画策定経費	40	第4次玉城町総合計画の後期基本計画書の印刷経費。経費節減及び不要部数の削減のため表紙のみ外部委託の印刷とし、適宜増刷できる方式とした。	◎	A
3 土地取引規制経費	33	国土法に基づく土地取引の届出処理・調査業務等。今年度は国土計画法に関連する届出、無届取引等はなかった。	○	C
4 行財政改革経費	64	平成17年度に策定した玉城町行財政改革プラン(H18~H22)の評価・検証を行った。 ・行財政改革審議会:委員5人(会長:松澤加重子)	●	B
5 男女共同参画事業経費	83	「子育て応援団ぽっかぽか」を中心とした実行委員会及び子育てサポーターが運営。町田浩志(まっちゃん)氏を招き教育関係者向けの研修会及び「みんなの力で子育てを~まっちゃんと遊ぼう~」を開催。社協、教委、総務などが協力して実施。約300名の参加を得た。 ・実施日 2/11(日) 保健福祉会館 ・参加者 約300人 (参加費:大人500円,こども300円,研修会1,000円) ・主催 「親子ふれあいコンサート実行委員会」	○	B

款 2 総務費 項 1 総務管理費 目 7 交通安全対策費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	5,577	5,533
決算額	5,463	5,434

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				5,434
				5,463

建設チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
1 交通安全交付金事業	2,489	交通事故の防止を図るため交通安全施設(道路反射鏡、交差点表示)の新設・修繕を行なった。 (新規分) 道路反射鏡 19個 (修繕) 道路反射鏡 14個 交差点表示 1箇所(カラー舗装)	○	A

生活福祉チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
1 交通安全対策経費	2,927	交通安全協会及び伊勢度会地区交通安全対策協議会による交通安全運動等を通じ地域の交通安全啓発などを行い交通事故防止に努めた。 ・平成18年交通事故総件数 →476件(前年比:46人増)うち死者数1人(前年比1人減)	○	A

款 2 総務費 項 1 総務管理費 目 8 交通災害共済見舞金受託事業

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	5,901	5,784
決算額	5,428	3,780

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	3,780			0
	5,428			0

生活福祉チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
1 交通災害共済見舞金受託事業	3,780	交通災害に備え、交通災害共済の周知及び受付を行った。 平成18年度加入者数 5,922人(加入率 39.5%) 見舞金請求件数 21件	○	A

款 2 総務費 項 1 総務管理費 目 11 諸費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	23,767	34,013
決算額	23,388	33,937

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			13,306	20,631
			1,609	21,779

総務チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
1 集会所整備補助金	1,457	各地区集会所整備に係る経費の一部を補助し、自治区の育成及び住民の行政参画の拡大を図った。 ・蚊野区 999千円、坂本町区 252千円 他2件	◎	A

款 2 総務費 項 2 徴税费 目 2 賦課徴収費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	41,272	89,136
決算額	40,649	87,947

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	17,327		1,175	69,445
	15,852		1,229	23,568

税務住民チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
1 地番図・家屋図修正業務委託	6,804	地番図、家屋図を現況に応じ修正することにより、課税客体を正確に把握し、財源の確保と増収を図った。	○	A
2 固定資産土地評価業務委託	5,114	固定資産税(土地)を今後とも安定的に確保するために、資産の的確な把握と適性かつ公正な評価を行うことが極めて重要である。そのため本年度は評価替を実施し、適正課税に努めた。今後次期評価替え(平成21年度)を目標に3ヶ年計画による土地評価システム業務委託を進め、財源の確保と増収を図った。	○	A
3 土地家屋登記済通知書デジタル化業務委託	234	法務局から毎月送付されてくる土地と家屋の登記済通知をスキャンングすることによってイメージ化をし、そのイメージデータに地番、権利者名、受付日を入力し、今後特定の地番、所有者の登記情報を容易に検索するもので、これにより検索時間が大幅に短縮され、事務効率が向上した。また、多量の紙ベースからMO媒体に保存方法を変更したため、保管場所の有効活用が図られた。	○	A

款 2 総務費 項 3 戸籍住民基本台帳費 目 1 戸籍住民基本台帳経費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	25,141	25,047
決算額	24,933	24,985

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
663	23		5,145	19,154
520	24		5,645	18,744

税務住民チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
1 戸籍コンピュータ化事業	4,887	戸籍事務の効率化、省力化、正確性・安全性の確保を図り、迅速かつ正確な窓口サービスの促進に努めた。 例)婚姻届 コンピュータ化前 戸籍ができるまでの所要時間 1時間30分 →コンピュータ化後 20分	◎	A
2 住民基本台帳ネットワークシステム事業	2,925	町管理の住民基本4情報を国県の機関等と共有することにより、住民サービスの向上と行政の効率化を図った。 例)パスポートの申請に住民票は不要になり個人事項証明書(旧 戸籍抄本)のみで申請できるようになった。 住基カードについては高齢者の本人確認の証明として活用している。	△	B
3 公的個人認証サービス事業	202	住民の多様なニーズに対応するため、電子証明書を交付することにより、転入転出など様々な行政手続きができるようになった。 例)確定申告も家庭でできるようになったが利用者は少ない。	△	C

款 3 民生費 項 1 社会福祉費 目 1 社会福祉総務費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	349,124	389,704
決算額	343,809	362,275

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
3,866	29,531		1,952	326,926
4,071	30,313			309,425

生活福祉チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
1 福祉バス運行事業	7,718	保健福祉会館を拠点として、バスを運行することで各公共施設(機関)を広く地域住民のふれあいの場として提供できた。また、伊勢市コミュニティバス路線と接続することで地域間交流や利用者の利便性の向上及び地域の活性化が図られた。 (年間延べ利用者数 24,348人)	○	B
2 地域福祉ネットワーク事業	6,000	地域に即した総合的福祉サービスを継続的かつ自主的に推進していくため、ふれあいの福祉センター設置事業(福祉相談・電話相談・専門相談)を充実させ、また社会福祉協議会と連携し、民生委員・ボランティアの参加を得て、老人の見守りと住民相互の助け合い組織づくりを行った。 (法律相談6回、心配ごと相談34回、子育て教育相談12回、介護者のつどい6回、いきいきサロン3ヶ所他)	○	A
3 追悼式事業	293	戦没者追悼式を実施した。(参列者約250名)	○	A

款 3 民生費 項 1 社会福祉費 目 2 人権対策費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	475	468
決算額	444	463

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
200				263
200				244

税務住民チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
1 人権対策経費	464	啓発物品の配布、人権擁護委員による広報活動、相談等により住民の人権意識を高揚させることができた。	○	A

款 3 民生費 項 1 社会福祉費 目 3 老人福祉費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	97,722	28,780
決算額	95,812	25,448

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	755		1,817	22,876
	12,488		2,035	81,289

生活福祉チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
1 日常生活用具給付事業	0	介護保険対象外の日常生活用具の給付。所得制限有り。 (支給件数 0件)	—	D
2 緊急通報体制整備事業	2,426	おおむね65歳以上の一人暮らしの高齢者に、緊急通報装置を設置し、日常生活の不安解消と緊急時の医療機関への搬送体制を整備した。 (貸与件数 65件、うち新規設置2件)	○	D

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
3 敬老年金支給事業	4,304	敬老の日に合わせて、町に住所を有する75歳以上の住民税非課税の高齢者に対して、民生委員が安否確認を兼ねて高齢者宅などを訪問し、4,000円と温泉券を配布し長寿等をお祝いした。 遠方者には現金書留で送付。 (支給件数 1,076件)	○	D
4 歳末慰問事業	176	年末に要介護1以上の在宅要介護高齢者に記念品(介護用品等)を贈った。 (支給件数 280件)	○	B
5 高齢者住宅改造事業	0	介護保険の住宅改修限度額200,000円を超える部分の補助。補助基準額 400,000円。介護保険の20万円までの枠を利用して上限60万までの改修工事が対象。非課税世帯など利用に制限がある。 (支給件数 0件)	—	D
6 介護手当支給事業	1,400	寝たきり老人、認知症老人を抱える家族に対し、月額5,000円を支給。支給月9月及び3月。 (9月支給 25件、3月支給 29件)	○	C
7 老人ホーム入所措置事業	8,841	既に入所中4名についてそのまま措置を継続した。待機者は0名。 (措置人員 4名)	○	A
8 高齢・障害者訪問介護扶助事業(特別対策)	210	介護保険法施行時に既にホームヘルプサービスを利用していた障害者等に対する利用料減免に関する国の特別対策事業。サービス利用料の一部を減免し、必要なサービスを提供することにより、要介護状態の悪化の予防などを図った。 今年度から高齢者のサービスは廃止。 (負担割合:、障害者 3%に減額) (障害対象者 7名)	○	A
9 社会福祉法人等低所得者利用負担額減免措置事業	45	社会福祉法人の提供するサービスを利用した場合に、利用額を軽減(3/4が自己負担)し、そのサービスを実施している社会福祉法人に対して、法人が負担すべき費用の一部について助成を行い低所得者が利用しやすい介護保険サービスの環境整備を図った。町内の協力事業所は玉城町社会福祉協議会・宮の里・はなのそののである。 (対象者 8名)	○	A

款 3 民生費 項 1 社会福祉費 目 4 介護予防費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	11,367	1,143
決算額	10,530	1,031

	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
本年				110	921
前年		3,639		309	6,582

生活福祉チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
1 生活管理短期宿泊事業	0	同居者の入院・外出などにより一時的な一人暮らしの必要が生じた者が入所できる制度である。 今年度は、利用者なし。(契約施設:養護老人ホーム高砂寮)	—	C

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
2 寝具乾燥消毒サービス事業	63	おおむね65歳以上の単身世帯、高齢者のみの世帯又はこれに準ずる世帯のうち、老衰・心身の障害・疾病などにより寝具類の衛生管理が困難な方を対象にサービスを提供し、十分な睡眠、及び免疫力の低下した人の感染予防を図った。 (利用者 5人、利用人数延べ 10人)	○	D
3 配食サービス事業	728	配食サービスの補助金がなくなったことから、利用者に対するアンケートを実施すると共に対象者の見直しを行った。介護保険上でも食材費は自己負担となっていることから、配食サービスの利用料も100円から200円に値上げした。年末・年始の役場の閉庁前の12月の配達時には、特に利用者の心身の状況や声かけを徹底した。	◎	D

款 3 民生費 項 1 社会福祉費 目 5 国民年金費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	6,625	7,419
決算額	6,609	7,413

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
本年	3,794			3,619
前年	3,888	149		2,572

生活福祉チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
1 国民年金事業	9,401	年間被保険者数=2,167名 平成18年度加入手続者数=493名	○	A

款 3 民生費 項 1 社会福祉費 目 6 児童手当費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	89,578	111,143
決算額	89,326	111,089

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
本年	46,923	31,786		32,380
前年	64,647	12,231		12,448

生活福祉チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
1 児童手当支給事業	111,089	一定の要件を満たす12歳到達最初の3月31日までの間にある児童(小学校修了前の児童)を養育し、定められた所得以下の者に児童手当を支給し、児童の健全育成を図った。 (受給者数 1,040名)	○	A

款 3 民生費 項 1 社会福祉費 目 7 身体障害者福祉費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	119,657	117,483
決算額	117,289	113,036

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
本年	42,708	29,376		764
前年	45,966	31,344		480

生活福祉チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
1 心身障害者福祉年金事業	744	重度の障害のため必要となる精神的、経済的な負担を軽くするため、年額4,000円を支給した。民生委員が重度心身障害者(児)の安否確認を兼ねて訪問し支給した。 (対象人数 186名)	○	A
2 身体障害者日常生活用具給付事業	1,374	在宅の重度心身障害者(児)に対し、特殊ベット、入浴補助用具等を給付することなどにより、日常生活の安定を図った。 (給付件数44件)	○	A

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
3 身体障害者補装具交付及び修理費事業	5,123	失われた身体機能を補うための補装具の交付及び修理を行い、日常生活や社会生活の向上を図った。 (交付及び修理延べ件数： 障害者 45件 障害児 9件)	○	A
4 身体障害者更生医療給付費事業	1,021	身体障害者の障害を軽減し、また取り除くなど、必要な医療費の軽減を図った。 (じん臓機能障害3名、心臓機能障害1名、肢体障害1名)	○	A
5 自動車改造助成費事業	200	運転免許を所持している身体障害者が運転を容易にするため、手動装置等の一部を改造した。 (利用人数 2名)	○	A
6 重度心身障害者等介護手当支給事業	1,490	精神又は身体に重度の障害がある者の介護を行なう家族等に対し当該手当を支給し、介護の経済的負担軽減を図った。 (対象人数 29名、 月額5,000円支給)	○	A
7 末芳園小規模授産事業運営補助事業	5,760	民間の共同作業所「末芳園」に対し、運営補助金を交付し、運営の円滑化を図った。 (通所人数 11名)	○	A
8 授産施設事業	12,098	町立「夢工房たまき」において、一般の企業等に雇用されることが難しい心身障害者が、自立に必要な訓練や作業を行うことで、生活の意欲増進を図った。 (事業主体:町社会福祉協議会) (通所人数 10名)	○	B
9 デイサービス支援費事業	4,414	就労困難な在宅の身体障害者を対象に、創作的活動、社会適応訓練、給食などを提供し、障害者の自立を促進した。また障害児については発達療育の促進を図った。 (利用者数 10名)	○	A
10 居宅介護支援費事業	2,964	重度の心身障害者のため、日常生活を営むのに支障のある障害者に対し、ホームヘルパーを派遣し、生活の安定を図った。 (利用者数 12名)	○	A
11 身体障害者短期支援費事業	1,295	重度の障害者を介護している家族が、疾病等のために介護できなくなったとき、当該障害者を一時的に施設に保護し、本人への支援と家族の介護負担の軽減を図った。 (利用者7名)	○	A
12 身体障害者施設通所措置費事業	2,084	在宅の身体障害者を対象に、更生に必要な指導及び訓練を行い、障害者の社会的自立の促進を図った。 (通所人数 6名)	○	A
13 身体障害者施設入所支援事業	16,497	重度の身体障害のため、家族で介護することが著しく困難な障害者を、各種施設へ入所し、障害者の自立更生を図った。 (入所人数 5名)	○	A

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
14 知的障害者地域生活援助支援費事業	1,897	地域で共同生活する知的障害者に日常生活の援助を行い、自立支援を図った。 (利用人数 2名)	○	A
15 知的障害者施設入所支援費事業	46,138	自立した生活と社会参加のため、各種施設への入所や通所による訓練等の支援を行なった。 (入所人数15名)	○	A
16 移動支援	336	屋外での移動が困難な障害のある人について、外出のための支援を行った。 (利用者5名)	○	A
17 地域活動支援事業	1,670	自立した日常生活又は社会生活を営むために日中活動の場の提供を行った。 (利用者8名)	○	A
18 障害者地域生活相談支援事業	807	障害のある方、介護者からの相談に応じ、必要な情報提供等援助を行った。 (相談支援事業者プレスへ委託) (相談件数201件)	○	A
19 グループホーム等移行支援モデル事業	48	グループホームに入所している方へ家賃の補助を行った。 (利用者2件)	○	A

款 3 民生費 項 1 社会福祉費 目 8 福祉医療費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	81,279	85,201
決算額	79,902	84,352

	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
本年		27,146			57,206
前年		27,356			52,546

生活福祉チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
1 心身障害者医療費支給事業	21,272	1 医療費等の助成 20,662千円 (1)登録者数 219人 (2)延件数 3,759件 2 証明書料の助成 610千円 (1)延件数 3,048件	○	B
2 65歳以上心身障害者医療費支給事業	23,228	1 医療費等の助成 23,228千円 (1)登録者数 254人 (2)延件数 6,406件	○	B
3 乳幼児医療費支給事業	30,237	1 医療費等の助成 27,495千円 (1)登録者数 892人 (2)延件数 14,127件 2 証明書料の助成 2,742千円 (1)延件数 13,706件	○	B
4 一人親等医療費支給事業	7,746	1 医療費等の助成 7,129千円 (1)登録者数 373人 (2)延件数 3,218件 2 証明書料の助成 617千円 (1)延件数 3,084件	○	B

款 3 民生費 項 2 児童福祉費 目 2 児童福祉施設費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	99,247	99,503
決算額	97,749	98,563

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,786		51,451	45,326
	1,835		41,351	54,563

生活福祉チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
1 放課後児童対策事業	13,064	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学生(1年生から3年生まで)の児童に対し、放課後の遊びや運動等の指導を行い、児童の健全育成を図った。 (利用者数 176名)	○	A
2 児童館事業	2,725	児童館において、健全な遊びを通じて、子どもの生活の安定と子どもの能力の発達を援助した。 (さくら児童館 平均利用者数24人/日、梅がおか児童館 平均利用者数11人/日)	○	A
3 地域子育て支援センター事業	2,683	子育てをする母親等のニーズに対応した事業(育児不安に対する支援や子育てサークル・ボランティア支援等)を積極的に実施し、子育て支援を行なった。 電話相談 週5日/面接相談 週2日/子育てサポーター養成講座 年5回	○	A
4 チャイルドシート助成事業	807	就学前の児童にチャイルドシートの着用が義務化されたことに伴い、町単独の少子化対策として、チャイルドシート購入費の2分の1を助成し、子育ての経済的負担軽減と乳幼児の死傷事故の防止を図った。 (助成件数 88件)	○	A
5 保育所各種保育事業	511,629	○児童保育事業 保護者が労働に従事したり、あるいは病気にかかっている等、家庭で十分保育をすることができない児童を、家庭の保護者にかわって保育し、児童の健全育成を図った。 (入所児童数 636人(H19.3.31現在)) ○延長保育推進事業 早朝(午前7時30分から)と夜間(午後8時まで)の延長保育を実施し、仕事と家庭の両立支援を行った。 (平均利用者数 203名/月) ○障害児保育事業 心身に障害のある児童のため、保育士を補充する等、障害児の処遇の向上と併せて保育の充実を図った。 (障害児 12名) ○乳児保育促進等事業 多様な保育ニーズに対応するため、0歳児保育を実施し、保育士を配置する等、保育の充実を図った。 (0歳児童数 18名(H19.3.31現在))	○	A

款 3 民生費 項 2 児童福祉費 目 3 母子福祉費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	960	1,061
決算額	956	1,049

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				1,049
				956

生活福祉チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
1 母子福祉年金	808	母子及び寡婦福祉法第6条に規定する女子の児童に年額4,000円を支給する。民生委員が母子家庭の安否確認をかねて訪問し配布する。(平成18年度 202名)	○	D

款 4 衛生費 項 1 保健衛生費 目 1 保健衛生総務費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	225,191	223,257
決算額	224,958	222,225

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				222,225
				224,958

生活福祉チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
1 保健衛生総務費事業	222,225	<ul style="list-style-type: none"> ・特殊勤務手当(野犬捕獲等) 70頭 ・菊狭間環境整備施設組合負担金(玉城・明和で構成、ごみ収集) 59,220千円 ・伊勢広域環境組合負担金(1市3町で構成、ごみ処理・し尿処理・斎場) 118,519千円 ・一次救急医療委託料 在宅当番制業務を伊勢地区医師会に委託し、休日及び夜間の一次救急医療体制を図った。441千円 ・二次救急医療負担金(伊勢市)2,467千円 	○	A

款 4 衛生費 項 1 保健衛生費 目 2 予防費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	45,385	46,049
決算額	44,132	45,383

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
4,853	5,094		444	34,992
3,833	3,986		454	35,859

生活福祉チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
1 老人医療費通知事業	361	老人保健医療費受給者に4回/年医療費通知を行い医療費に対する自覚と医療費の適正化を推進した。 老人保健医療費通知郵便料 184千円 老人医療費通知作成委託料 177千円	◎	A
2 予防事業	1,033	正しい食生活や健康づくりを地域に伝達し、活力ある地域社会を目指し活動をしている食生活改善推進協議会に補助を行った。(190千円)	○	A

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
3 老人保健事業	21,421	<p>健康増進と病気予防・早期発見の為、各種健診と健康教育・健康相談会等を実施し病気予防に努めた。</p> <p>1. 保健師、栄養士(疾患別料理教室)による骨粗しょう、高脂血症、高血圧、糖尿病等の指導</p> <p>2. 65歳以上を対象として「いきいきクラブ」を開催し介護予防となるよう軽運動を指導</p> <p>3. 各種ガン早期発見のため検診を実施 肺ガン 939名受診 605千円 胃ガン 69名受診 302千円 大腸ガン 649名受診 1239千円 子宮ガン 160名受診 604千円 乳ガン 284名受診 937千円</p> <p>4. 生活習慣病や肝疾患(希望者で、肝炎ウイルス検査)などを早期発見するため基本健康診査を40歳以上を対象に実施 また65歳以上には介護予防健診を実施 1,650名受診 15,714千円</p> <p>5. 結核の早期発見のため検診を実施 693名受診 516千円</p>	△	B
4 母子保健事業	5,587	<p>乳幼児と母親を対象に、健全な発育と母親のかかわりなどについて医師等による健診、保健師による各種教室を開催し母親の子育て支援を行った。</p> <p>1. 保育所入所前の親子を対象に乳幼児相談等を実施 23回 延べ487名 18千円</p> <p>2. 虫歯が急増する乳幼児期に歯科医師による講義、フッ素塗布、ブラッシング指導を行う歯っぴい教室・保育所においてフッ素洗口事業を実施。歯科保健の強化を図った。 4回 延べ175名 192千円(歯っぴい教室) 保育所4園 延べ348名 62千円(フッ素洗口)</p> <p>3. 健全な母性を育成するためマタニティ教室を開催した。 2回 延べ35名 26千円</p> <p>4. 4ヶ月、10ヶ月乳児の健康診査を行い異常の早期発見と健康の保持を図った。 延べ259名受診 1,471千円</p> <p>5. 妊婦検診…妊娠中に2回検診を行い異常の早期発見と健康の保持を図った。 延べ290名受診 2,156千円</p> <p>6. 1歳6ヶ月児健診…運動機能、視聴覚などの障害、精神発達の遅滞などの障害を持った幼児の早期発見及び適切な指導に努めた。 6回延べ140名 413千円</p> <p>7. 3歳児健診 視聴覚などの障害、精神発達の遅滞などの障害を持った幼児の早期発見及び適切な指導に努めた。 6回延べ132名 408千円</p> <p>8. 1歳6ヶ月健診で発達に遅れのある児に対して発達を促す遊びなどを取り入れた教室を実施した。 12回延べ59名 216千円</p> <p>9. 発達に障害のある児童に対して集団で療育指導を行った。 12回延べ61名 300千円</p> <p>10. 乳幼児を対象にベビーマッサージ・お母さんのためのピラティス教室を行った。6回延べ 30千円</p>	○	B
5 予防接種事業	16,909	<p>・予防接種事業を医療機関に委託して実施 ポリオ・三種混合・二種混合・MR(麻しん・風しん混合ワクチン)・麻しん・風疹・日本脳炎・BCG →11,820千円</p> <p>・高齢者のインフルエンザ感染予防ため予防接種実施 →1,533名 3,838千円</p> <p>任意の予防接種(インフルエンザ・水痘・おたふくかぜ)に対して補助を実施 インフルエンザ: 1,149件 574千円 水痘: 29件 58千円 おたふくかぜ 54千円</p>	○	B

款 4 衛生費 項 1 保健衛生費 目 3 環境衛生費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	38,906	33,377
決算額	37,851	32,806

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
4,196	6,668		653	21,289
7,490	9,082		2,329	18,950

本年
前年

生活福祉チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
1 環境衛生事業	5,562	<ul style="list-style-type: none"> 地域の環境保全のために不法投棄物の回収処分を行った。 703千円(家電4品目リサイクル料を含む) 生活環境の確保、美化意識の高揚を図ることを目的にごみ集積所の補助を行った。 5件 350千円 捨て犬・捨て猫を防止し、適正飼育を図るため、不妊手術に対して補助を行った。 59件 122千円 墓地内の環境衛生の改善を図るため、自治会が行う整備事業に対して補助を行った。 (蚊野区・勝田区) 122千円 エネルギーの有効利用を支援し、環境への負荷の少ない循環型社会の形成を図るため住宅用太陽光発電システムを設置する者に対して補助を行った。 太陽光 9件 エコキュート 7件 1,360千円 不燃ごみの分別(H.19年度～)に向け、住民周知や回収カゴの設置を行った。 カン・金属類カゴ 730個 1,456千円 集積場案内看板 230枚 285千円 チラシ印刷 5,500枚 241千円 	○	A
2 中角ごみ処理場経費	2,450	<ul style="list-style-type: none"> 投棄場跡用地を度会土地開発公社名義で取得した。 @3,800円/㎡ 9,900㎡ (地権者 17名 40筆) 所有権移転登記等代金 1,000千円 関係農地宮川用水地区除外決済金 397千円 公社借入金償還利息 456千円 借地料 43件 10,670㎡ 560千円 	○	A
3 合併浄化槽事業	17,864	<ul style="list-style-type: none"> 公共用水域の汚濁防止、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、小型合併処理浄化槽の設置に対して補助を行った。 48基 17,858千円 	○	A
4 ごみ減量化促進対策事業	6,931	<ul style="list-style-type: none"> ごみの減量化、資源化のために資源ごみの回収を実施した。 リサイクルステーションより毎週回収(段ボール、紙類、布類) 5,111千円 子ども会・PTA等再生資源集団回収事業推進団体に登録された団体に対し、回収量に応じ奨励金を交付し、ごみの減量・資源化を図った。 登録団体9団体 延べ20件 764千円 3円/1kg 回収量 紙類 244.7^ト 布類 2.6^ト アルミ 7.2^ト 生ごみの自家処理を促進し、ごみの減量化を図ることを目的に、生ごみ処理機を購入設置した世帯に補助を行った。 12件 240千円 1/2 20,000円上限 	○	B

款 4 衛生費 項 1 保健衛生費 目 4 公害対策費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	4,000	324
決算額	2,011	323

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				323
				2,011

生活福祉チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
1 公害対策事業	323	・公共水域の環境監視のために、水質調査を実施し、適正な水質管理に努めた。 外城田川、相合川、牛尾崎池の8ヶ所年2回、中角ごみ投棄場年4回を行った。 323千円	○	A

款 6 農林水産費 項 1 農業費 目 2 農業総務費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	34,406	49,684
決算額	34,301	49,668

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	216		306	49,146
	1,758		305	32,238

農林商工チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
1 農業総務経費	22,629	伊勢地域農業共済事務組合負担金21,299千円、集落育成交付金965千円等を交付した。(時間外手当、消耗品費365千円含)	○	B

款 6 農林水産費 項 1 農業費 目 3 農業振興費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	13,364	15,081
決算額	13,314	15,078

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				15,078
				13,314

農林商工チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
1 農業振興経費	12,132	生産調整推進対策事業として、伊勢農業協同組合に1,260千円を補助、農業活性化対策事業交付金(生産調整に対する農家補助)10,776千円を交付し、農業振興を図った。	○	B
2 生産調整推進事業	230	生産調整現地確認を実施した。	○	A
3 農業振興地域整備計画事業	2,716	5年ごとの農業振興地域整備計画変更のための基礎調査を実施した。	○	B

款 6 農林水産費 項 1 農業費 目 4 畜産振興費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	1,061	242
決算額	1,055	240

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				240
	813			242

農林商工チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
1 畜産振興経費	90	松阪食肉センター等、各種協会の会議等に参加し、地域の畜産振興について審議した。	○	B
2 畜産振興対策事業	150	松阪肉牛共進会出品報償金(4名10件分)を交付し、松阪牛の振興を図った。	○	B

款 6 農林水産費 項 1 農業費 目 6 農地費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	72,536	69,765
決算額	67,616	65,882

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	2,965	28,500	300	34,117
	3,684	35,100	300	28,532

農林商工チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
1 県単土地基盤整備事業	3,382	玉城町蚊野地内農道舗装工事(L=240.3m)を施工し、農道の機能を向上させるとともに安全の確保に努めた。	○	A
2 土地改良施設維持管理適正化事業	910	事業負担金として三重県土地改良事業団体連合会へ支出した。	○	B
3 町単農道整備事業	6,916	農道舗装整備を施工し、営農の向上を図った。	○	B
4 県営関連事業	38,661	県営基幹水利施設補修事業(野篠地区)計画設計業務(4,200千円)、県営ふるさと農道(1,633千円)、県営かんがい排水事業(15,938千円)、経営体育成基盤整備事業(16,890千円)に係る負担金であり、各事業とも営農の向上、農業基盤の充実を目的とする。	○	B
5 土地改良区等補助金事業	9,030	土地改良区の実施する農業施設改修事業に対し補助金を交付し、施設の保全と営農の向上を図った。	○	B
6 土地改良区償還補助金事業	947	県営一般農道玉城南地区(329千円)、県営広域農道事業(618千円)に係る償還金を補助した。	○	A
7 国営造成施設管理体制強化支援事業	2,436	宮川用水国営施設の維持管理及び補修改良に係る経費で、農業用水の安定供給を図った。	○	A

款 6 農林水産費 項 1 農業費 目 7 地域農政推進事業費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	723	832
決算額	720	830

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	6			824
	28			692

農林商工チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
1 農業経営基盤対策事業	830	農業経営基盤強化資金(3件)、中核農業者育成資金(19件)の利子補給補助を行い、農業経営者の経費負担軽減の支援を行った。	○	A

款 6 農林水産費 項 2 林業費 目 1 林業振興費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	620	554
決算額	610	535

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			115	420
			129	481

農林商工チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
1 林業振興経費	156	桜などの苗木を桜まつりで配布し、緑化の啓発・推進に努めた。桜100本、コデマリ、レンギョウ、ヤマブキ各40本、ビックリグミ15本を購入	○	B
2 有害鳥獣対策事業費	379	町猟友会に鳥獣保護区の立札設置を依頼した。また、有害鳥獣(カラス等)駆除委託(18件)を行い農産物等への被害防止を図った。	○	A

款 7 商工費 項 1 商工費 目 2 商工振興費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	36,589	28,505
決算額	36,588	28,267

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			932	27,335
				36,588

農林商工チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
1 商工振興費経費	28,267	桜まつり実行委員会に桜まつりの事業委託(2,000千円)をし、地域振興を図った。町商工会に補助金(9,270千円)を交付し、商工業の振興に寄与した。山村振興事業特別会計への、繰出金(15,739千円)により、ふれあいの館の管理運営を助成した。	○	B

款 8 土木費 項 1 土木管理費 目 1 土木総務費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	18,152	20,640
決算額	17,654	20,634

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
598			54	19,982
			15	17,639

建設チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
1 道路台帳更新業務	1,050	町道認定、廃止及び道路事業に伴う台帳更新業務を行った。	○	B
2 道路管理データ登録業務	2,415	国有財産(道路・水路)の譲渡に伴い境界立会い記録の登録業務を行い検索が容易になり利便性が上がった。	○	A

款 8 土木費 項 2 道路橋梁費 目 2 道路維持修繕費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	11,013	80,478
決算額	10,987	79,892

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			3,000	76,892
			3,000	7,987

建設チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
1 道路維持修繕事業	69,250	住民生活に密着した生活環境基盤整備として、支障がある箇所を整備および小規模修繕工事を行った。 (概要) 舗装工事 3路線 側溝工事 10路線 補修工事 2路線 防護柵設置工事 3路線 小規模補修工事 35箇所	●	B
2 生活道舗装等補助業務	4,844	現業職員の作業補助を人材センターに委託し事業を行った。 (概要) 除草作業、道路反射鏡および防護柵等の設置並びに補修など	○	B

款 8 土木費 項 2 道路橋梁費 目 3 道路新設改良費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	113,739	126,360
決算額	79,786	87,721

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				84,340
				58,413

※決算額には前年度からの繰越を含む

建設チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
1 道路新設改良町単事業	49,857	住民生活に密着した道路の改良を行うことにより、機能の充実、生活基盤の整備を進めた。 (概要) 道路改良工事 4路線 用地買収、支障物件補償、測量調査設計ほか	●	B
2 地方道路整備交付金事業 中楽朝久田線	14,162	県道鳥羽松阪線から県道田丸停車場斎明線へのアクセス道路として重要な路線であるが、幅員が狭小で乗用車の相互通行も出来ないため国の補助を受けて整備を進めている。 (概要) 改良工事 L=104.0m 用地買収 3件	△	B

款 8 土木費 項 2 道路橋梁費 目 4 用悪水路費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	12,900	6,000
決算額	12,900	5,011

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				5,011
				12,900

建設チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
1 用悪水路事業経費	5,011	山神区、勝田区が実施した排水路改良工事に対し、80%以内の補助を行った。	○	A

款 8 土木費 項 3 河川費 目 1 河川総務費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	11,127	7,440
決算額	7,533	6,970

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				6,970
				7,533

建設チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
1 河川維持補修事業	6,531	河川護岸の除草作業および崩壊の危険性がある箇所について補強工事により機能維持を行った。 (概要) 除草工事 外城田川、三郷川、汁谷川 補修工事 外城田川ほか L=230.0m 障害物除去 外城田川 1箇所	●	B

款 8 土木費 項 4 都市計画費 目 1 都市計画総務費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	21,511	19,315
決算額	20,865	19,241

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	74			19,167
	83			20,782

建設チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
1 地形図データ数値化業務	200	開発行為に伴う地形図データ数値化を行った。 (概要) 開発箇所数値化 6箇所	○	A
2 都市計画基礎調査業務	840	都市計画見直しに伴う基礎調査業務を行った。 (概要) 都市施設、自然公園、公害、災害等各種状況調査	○	B

款 8 土木費 項 5 住宅費 目 1 住宅管理費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	21,511	14,699
決算額	20,865	14,250

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
150	385		13,340	375
	83			20,782

建設チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
1 維持補修工事	6,472	老朽化に伴う城東団地玄関扉改修工事、プロパン庫解体・移設工事および消防法改正に伴う火災報知機設置工事を行い町営住宅の維持管理に努めた。 (概要) 玄関扉改修工事 32戸 プロパン庫工事 1箇所 火災報知機設置工事 84戸	○	B
2 木造住宅耐震診断事業	300	住宅所有者等に耐震性についての正確な情報提供を行った。 (概要) 木造耐震診断 10戸	●	A
3 木造住宅耐震補強事業	610	木造住宅耐震診断により得た情報を基に耐震補強工事に対し、補助を行った。 (概要) 木造耐震補強 1戸	●	A

款 9 消防費 項 1 消防費 目 1 常備消防費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	152,582	168,503
決算額	152,575	168,502

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				168,502
				152,575

総務チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
1 広域消防委託経費	168,037	消防活動、救急活動を伊勢広域消防本部へ委託し消防防災の維持・安定を図った。	○	A

款 9 消防費 項 1 消防費 目 3 消防施設費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	901	1,778
決算額	885	1,757

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				1,757
				885

総務チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
1 地区消防施設整備維持費経費	394	自衛消防組織をもつ16地区に消防施設維持費として補助し、その充実を図った。	○	A
2 集落自衛消防機械器具等購入補助経費	1,663	各自治区にある消防ボックス、ホース等の購入経費の一部を補助し地域防災の強化を促進し、その充実を図った。 ・対象地区 19地区	○	A

款 9 消防費 項 1 消防費 目 4 水防費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額		1,912
決算額		1,807

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	800			1,007

総務チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
1 宮川洪水ハザードマップ作成	1,733	宮川の洪水ハザードマップ(被害想定)を国県の補助によって作成し全戸に配布を行った。	◎	A

款 9 消防費 項 1 消防費 目 6 防災対策費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	11,236	9,364
決算額	10,032	8,539

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	114		551	7,874
	705		93	9,234

総務チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
1 有線放送施設撤去工事	1,198	防災無線の導入により不要となった有線放送の鋼管柱等の撤去を行った。 ・撤去箇所 4地区	◎	A
2 防災行政無線個別受信機設置工事	396	転入世帯に役場親局からの情報を無線により直接受信できる個別受信機の設置を行った。 ・アンテナ有り 6箇所 アンテナ無し 71箇所	◎	A

款 10 教育費 項 1 教育総務費 目 3 教育指導費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	5,247	5,127
決算額	5,176	5,044

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			473	4,571
			420	4,756

教育チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
1 教育指導ALT費	5,044	町内小中学校5校と保育所で、ALTが英語教師の助手として外国語指導にあたり、園児・児童・生徒への英語への関心を深め、国際理解の観点から国際化の推進を図った。	○	A

款 10 教育費 項 2 小学校費 目 1 学校管理費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	151,945	141,945
決算額	149,954	140,622

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
4,977			2,585	133,060
			2,981	146,973

教育チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
1 田丸小学校空調防音事業	4,977	防衛庁の補助(10/10)を受け、田丸小学校に空調設備の実設計計を行なった。平成20年度に設置工事を行う予定である。	○	A

款 10 教育費 項 3 中学校費 目 1 学校管理費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	166,473	102,556
決算額	165,737	101,276

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
27,686			2,214	71,376
25,938		48,660	1,741	89,398

教育チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
1 玉城中学校空調防音事業	29,452	防衛庁の補助(10/10)を受け、平成18、19年度継続事業により玉城中学校校舎に空調設備の設置工事を行う。	○	A

款 10 教育費 項 4 社会教育費 目 1 社会教育総務費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	29,738	27,312
決算額	29,564	27,080

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	183			26,897
	159			29,405

教育チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
1 各種社会教育事業	27,080	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習講座の実施 →高齢者学級 9回開講 受講生122名 成人式:141人出席(対象者171人出席率 82.5%) 社会教育関係団体への補助金交付 ITサポートセンターの設置とITサークルの育成 「みえのコミュニティーチャーター事業」を実施し、子どもたちの社会規範向上活動を推進した。 	○	B

款 10 教育費 項 4 社会教育費 目 2 公民館費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	2,935	3,310
決算額	2,921	3,288

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			1,054	2,234
			1,287	1,634

教育チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
1 公民館講座事業	1,630	書道、洋裁等趣味・教養講座10講座を開講。受講者数118名	○	B
2 創作美術展経費	88	公民館講座、自主文化サークルの作品発表会。11月6日,7日に開催。出品者総数281名。出品数362点。入館者数822名。	○	B

款 10 教育費 項 4 社会教育費 目 5 青少年対策費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	2,237	1,588
決算額	2,120	1,570

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				1,570
				2,120

教育チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
1 青少年対策事業	1,570	青少年指導委員協議会開催、補導活動実施。 電話相談 週1回実施。 青少年を育てる会への補助金交付。 子ども110番の家プレートの作成など、子どもの安全・安心についての対策を実施した。	○	B

款 10 教育費 項 5 保健体育費 目 1 保健体育総務費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	4,514	4,094
決算額	4,399	4,045

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				4,045
				4,399

教育チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
1 保健体育事業	1,969	<ul style="list-style-type: none"> ●スポーツ教室を開催し町民の健康増進に努めた。 <ul style="list-style-type: none"> ・弓道教室 20回開講 受講者17名 ・中国健康体操 5回開講 受講者 35名 ・硬式テニス 5回開講 受講者 23名 ●各種スポーツ団体へ補助金を交付し、団体の育成及び健康増進を図った。 	○	B
2 体育指導員事業	2,075	事業推進のため定期的に体育指導委員会を開催した。 健康・体力づくりのため以下の事業を実施し町民の健康増進に寄与した。 <ul style="list-style-type: none"> ・水泳教室 65名 ・町民体育祭 1,200名 ・ソフトバレーボール大会 130人 ・ウォークラリーツアー 44人 ・ふれあいハイキング(春57人・秋39人), グラウンドゴルフ大会 36人 ・ウィンターフェスタ 110人 	○	B

款 12 公債費 項 1 公債費 目 1 元金

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	424,080	440,392
決算額	424,079	440,392

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				440,392
本年			4,441	419,638
前年				

総務チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
1 元金経費	440,392	前年度決算額より1,631万3千円増となっているが、発行額の抑制により2億6,500万円の発行となり、償還額を下回ったことにより年度末残高は減少している。今年度発行の主なものは、臨時財政対策債の2億110万円が主なものである。	◎	A

款 12 公債費 項 1 公債費 目 2 利子

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	97,067	91,110
決算額	96,867	90,734

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			7,309	83,425
本年			891	95,976
前年				

総務チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
1 利子経費	90,734	今年度末の地方債の残高は、1億7,539万2千円減の45億8,161万9千円となり、前年度に引き続き減少している。	○	B

国民健康保険特別会計

款 1 総務費 項 1 総務管理費 目 2 連合会負担金

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	659	688
決算額	657	688

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
0	0	0	0	688
0	0	0	0	657

生活福祉チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
連合会負担金	688	三重県国民健康保険団体連合会事業にかかる負担金	◎	A

款 1 総務費 項 2 徴収費 目 1 賦課徴収費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	1,135	1,060
決算額	1,134	1,059

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
0	0	0	0	1,059
0	0	0	0	1,134

生活福祉チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
賦課徴収費	1,059	国保料通知書等消耗品	○	B

款 1 総務費 項 3 運営協議会 目 1 運営協議会費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	143	143
決算額	71	66

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
0	0	0	66	0
0	0	0	71	0

生活福祉チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
国保運営協議会	66	協議委員 6名 開催 2回	◎	A

款 2 保険給付費 項 1 療養諸費 目 1 一般被保険者療養給付費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	443,838	430,961
決算額	439,387	430,961

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
193,202	30,525	0	42,831	164,403
205,043	20,558	0	43,301	170,485

生活福祉チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
一般被保険者療養給付費	430,961	(1) 診療月平均件数(薬剤、訪問看護を含む)2,570件 (2) 年度平均被保険者数 2,696人 (3) 1人当の診療費 195,598円(前年比109.9%)	◎	A

款 2 保険給付費 項 1 療養諸費 目 2 退職被保険者等療養給付費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	184,293	241,273
決算額	184,173	236,815

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
0	0	0	157,657	79,158
0	0	0	150,888	33,285

生活福祉チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
退職被保険者等療養給付費	236,815	(1) 診療延件数(薬剤、訪問看護を含む)14,974件(対前年比119.4%) (2) 年度平均被保険者数 847人(うち高齢受給者222人) (3) 1人当の診療費 297,708円(対前年比107.8%)	◎	A

款 2 保険給付費 項 1 療養諸費 目 3 一般被保険者療養費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	3,321	2,800
決算額	3,214	2,691

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,260	162	0	0	1,269
1,379	138	0	0	1,697

生活福祉チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
一般被保険者療養費	2,691	(1)総件数 337件 (2)療養費申請支給件数 50件	◎	A

款 2 保険給付費 項 1 療養諸費 目 4 退職被保険者等療養費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	1,410	2,384
決算額	1,393	2,324

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
0	0	0	1,548	776
0	0	0	1,342	51

生活福祉チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
退職被保険者等療養費	2,324	(1)総件数 156件 (2)療養費申請支給件数 18件	◎	A

款 2 保険給付費 項 1 療養諸費 目 5 審査手数料

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	2,476	2,665
決算額	2,475	2,638

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
0	0	0	0	2,638
0	0	0	0	2,475

生活福祉チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
審査手数料	2,638	年間レセプト件数 47,282件	◎	A

款 2 保険給付費 項 2 高額療養費 目 1 一般被保険者高額療養費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	46,569	49,561
決算額	46,562	49,060

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
22,317	2,867	0	0	23,876
21,993	2,205	0	0	22,364

生活福祉チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
一般被保険者高額療養費	49,060	(1)支給件数 513件 (2)1件当の支給額 90,187円	◎	A

款 2 保険給付費 項 2 高額療養費 目 2 退職被保険者等高額療養費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	13,098	22,356
決算額	13,097	21,175

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
0	0	0	14,097	7,078
0	0	0	10,471	2,626

生活福祉チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
退職被保険者等高額療養費	21,175	(1)支給件数 171件 (2)1件当の支給額 77,428円	◎	A

款 2 保険給付費 項 3 出産育児一時金 目 1 出産育児一時金

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	6,900	5,850
決算額	6,300	5,850

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
0	0	0	3,900	1,950
0	0	0	4,200	2,100

生活福祉チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
出産育児一時金	5,850	(1)支給件数 18件	◎	A

款 2 保険給付費 項 4 葬祭費 目 1 葬祭費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	2,370	2,580
決算額	2,370	2,580

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
0	0	0	0	2,580
0	0	0	0	2,370

生活福祉チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
葬祭費	2,580	(1)支給件数 86件	◎	A

老人保健

款 3 拠出金 項 1 老人保健拠出金 目 1 老人保健医療費拠出金

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	182,517	160,250
決算額	182,517	160,250

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
46,876	8,441	0	0	104,933
56,541	8,670	0	0	117,306

生活福祉チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
老人保健医療費拠出金	160,250	国保老人医療費にかかる社会保険診療報酬支払基金負担金 国保老人保健年度平均受給者数 1,349人	◎	A

老人保健

款 3 拠出金 項 1 老人保健拠出金 目 2 老人保健事務費拠出金

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	3,148	3,273
決算額	3,147	3,273

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
0	0	0	0	3,273
0	0	0	0	3,147

生活福祉チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
老人保健事務費拠出金	3,273	国保老人事務費にかかる社会保険診療報酬支払基金負担金	◎	A

款 4 介護給付費 項 1 介護給付費 目 1 介護給付費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	75,750	77,334
決算額	75,749	77,334

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
33,468	4,519	0	2,972	36,375
本年	33,338	3,218	0	3,278
前年				35,915

生活福祉チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
介護納付金	77,334	介護第2号被保険者にかかる社会保険診療報酬支払基金負担金 第2号被保険者数年度平均1,500人	◎	A

共同事業
款 5 拠出金 項 1 共同事業拠出金 目 1 高額医療費共同事業医療費拠出金

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	18,803	16,448
決算額	18,803	16,448

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
4,111	4,111	0	8,223	3
本年	4,700	4,700	0	9,403
前年				0

生活福祉チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
高額医療費等共同 事業医療費拠出金	16,448	医療費70万円以上についての審査等における国保連合会負担金	◎	A

共同事業
款 5 拠出金 項 1 共同事業拠出金 目 4 保険財政共同安定化事業拠出金

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	0	53,945
決算額	0	53,945

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
0	0	0	53,944	1
本年	0	0	0	0
前年				

生活福祉チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
保険財政共同安定 化事業拠出金	53,945	国保連合会負担金	◎	A

款 6 保健施設費 項 1 保健施設費 目 1 保健衛生普及費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	1,102	1,194
決算額	1,063	1,192

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
0	0	0	0	1,192
本年	0	0	0	1,063
前年				

生活福祉チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
保健衛生普及費	1,192	(1)優良家庭表彰 60世帯 (2)医療費通知延件数 8,384件	◎	A

款 6 保健施設費 項 1 保健施設費 目 2 保健施設事業費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	12,328	10,754
決算額	12,327	10,754

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
0	0	0	2,356	8,398
0	0	0	2,145	10,182

生活福祉チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
保健施設事業費	10,754	(1)人間ドック 受診者数 278名	◎	A

款 7 基金積立金 項 1 基金積立金 目 1 基金積立金

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	1	3
決算額	1	3

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
0	0	0	0	3
0	0	0	0	1

生活福祉チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
基金積立金	3	基金保有額 948,004円(18年度末)	△	D

款 9 諸支出金 項 1 償還金及び還付加算金 目 1 一般被保険者保険料還付金

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	492	1,216
決算額	492	1,172

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
0	0	0	0	1,172
0	0	0	0	492

生活福祉チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
一般被保険者保険料還付金	1,172	保険料過誤返納金	○	B

款 9 諸支出金 項 1 償還金及び還付加算金 目 3 償還金

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	0	9,001
決算額	0	8,949

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
0	0	0	0	8,949
0	0	0	0	0

生活福祉チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
償還金	8,949	療養給付費等返還金	○	B

款 9 諸支出金 項 2 繰出金 目 1 直営診療施設繰出金

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	835	3,468
決算額	835	3,468

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
3,468	0	0	0	0
835	0	0	0	0

生活福祉チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
直営診療施設繰出金	3,468	玉城病院健康保健事業 843千円 玉城病院施設整備事業 2,625千円	◎	B

老人保健特別会計

款 2 医療諸費 項 1 医療諸費 目 1 医療給付費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	966,000	922,277
決算額	964,268	899,754

		決算額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
本年		277,799	69,450		552,486	19
前年		274,895	68,724	0	620,649	0

生活福祉チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
医療給付費	899,754	老人医療費の現物支給 (1)対前年度比 0.93 (2)給付件数 38,546件 (3)月平均受給者数 1,713人	○	C

款 2 医療諸費 項 1 医療諸費 目 2 医療費支給費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	15,561	17,240
決算額	15,320	16,426

		決算額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
本年		5,086	1,272	0	10,068	0
前年		4,356	1,089	0	9,875	0

生活福祉チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
医療費支給費	16,426	柔道整復、補装具、あんまマッサージ、鍼きゅう、高額療養費の現金支給 (1)支給件数 3,933件	○	C

款 2 医療諸費 項 1 医療諸費 目 3 審査支払手数料

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	4,402	4,273
決算額	4,338	4,208

		決算額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
本年		0	0	0	4,208	0
前年		0	0	0	4,338	0

生活福祉チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
審査支払手数料	4,208	老人医療費の審査、支払事務の費用	○	A

款 3 諸支出金 項 2 償還金 目 1 償還金

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	601	6,372
決算額	601	6,372

		決算額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
本年		2,793	0	0	339	3,240
前年		594	0	0	7	0

生活福祉チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
償還金	6,372	平成17年度医療費及び適正化事業交付金返納金 (1)国庫適正化事業補助金 42,000円 (2)医療費交付金、補助金 6,329,368円	○	A

山村振興事業特別会計

款 1 管理運営費 項 1 管理運営費 目 1 管理運営費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	61,830	54,425
決算額	58,160	53,065

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			19,714	33,351
本年			32,702	25,458
前年				

農林商工チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
1 ふれあいの館 管理事業費	48,618	玉城弘法温泉の運営。	○	B
2 アスピア玉城 管理事業費	3,447	アスピア玉城の公園等の維持管理に努め、景観をよくした。	○	B
3 諸イベント事業 費	1,000	夏まつり、秋まつり等	○	B

農業集落排水特別会計

款 1 農業集落排水事業 項 1 農業集落排水事業費 目 1 農業集落排水総務費(基金積立金)

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	4,795	8,545
決算額	4,795	8,545

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	8,497		48	
	4,785		10	

上下水道課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
1 農業集落排水総務経費	16,195	農業集落排水事業に伴う人件費を主とする総務的な経費であり事業の推進を行った。支援事業において基金を積み立てた。	○	A

款 1 農業集落排水事業 項 1 農業集落排水事業費 目 2 農業集落排水整備費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	138,063	163,055
決算額	89,972	160,543

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
67,500		85,400	5,235	2,408
34,000		53,300	2,672	0

上下水道課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
1 三郷・昼田地区整備事業	160,543	三郷・昼田地区(小社)の管路施設工事を施工した。また、処理場の調査設計を行った。	○	A

款 1 農業集落排水事業 項 1 農業集落排水事業費 目 3 農業集落排水維持管理費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	12,655	12,931
決算額	12,481	12,609

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			7,722	4,887
			4,099	8,382

上下水道課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
1 宮古地区維持管理経費	7,837	平成12年3月に供用開始した宮古処理場の保守点検を㈱エステムに委託し、施設の機能保持を図った。	○	A
2 岩出・中角地区維持管理経費	4,772	平成17年3月に供用開始した岩出・中角処理場の保守点検を㈱エステムに委託し、施設の機能保持を図った。	○	A

款 2 公債費 項 1 公債費 目 1 元金

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	8,666	9,105
決算額	8,665	9,105

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			6,686	2,419
			8,665	

上下水道課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
1 元金経費	9,105	地方債元金償還のための経費。	○	A

介護保険特別会計

款 1 総務費 項 2 徴収費 目 1 賦課徴収費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	-	512
決算額	-	470

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
0	0	0	470	0
-	-	-	-	-

生活福祉チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
賦課徴収費	470	介護保険料通知書等消耗品	○	B

款 1 総務費 項 3 介護認定審査会費 目 1 介護認定審査会費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	944	2,189
決算額	689	2,084

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
0	0	0	2,084	0
0	0	0	686	3

生活福祉チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
介護認定審査会費	2,084	認定審査委員 10名 開催 月2回	○	B

款 1 総務費 項 3 介護認定審査会費 目 2 認定調査等費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	1,269	3,460
決算額	1,262	3,250

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
0	0	0	3,250	0
0	0	0	1,256	6

生活福祉チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
認定調査等費	3,250	主治医意見書手数料、訪問調査消耗品費等	○	B

款 2 保険給付費 項 1 介護及び予防サービス等 目 1 介護及び予防サービス等諸費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	-	375,258
決算額	-	363,082

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
205,687	45,385	12,738	45,385	53,887
-	-	-	-	-

生活福祉チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
介護及び予防サービス等諸費	363,082	(1) 介護給付費 7,117件 360,405,728円 (2) 福祉用具購入費 13件 279,576円 (3) 住宅改修費 21件 2,395,739円	○	B

款 2 保険給付費 項 2 その他諸費 目 1 審査支払手数料

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	-	609
決算額	-	588

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
333	73	2	74	106
-	-	-	-	-

生活福祉チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
審査支払手数料	588	審査支払手数料 6,186件 587,670円	○	B

款 2 保険給付費 項 3 高額介護サービス等費 目 1 高額介護サービス等諸費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	-	4,176
決算額	-	3,691

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,092	461	13	461	664
-	-	-	-	-

生活福祉チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
高額介護サービス等諸費	3,691	高額介護サービス費 489件 3,690,428円	○	B

款 3 財政安定化基金拠出金 項 1 財政安定化基金拠出金 目 1 財政安定化基金拠出金

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	-	562
決算額	-	562

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
0	0	562	0	0
-	-	-	-	-

生活福祉チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
財政安定化基金拠出金	562	財政安定化基金拠出金(度会1部分2,003,890円の28%(玉城町按分の金額))	○	B

款 4 基金積立金 項 1 基金積立金 目 1 介護給付費準備基金積立金

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	-	34,268
決算額	-	34,268

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
0	0	0	34,268	0
-	-	-	-	-

生活福祉チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
介護給付費準備基金積立金	34,268	介護給付費基金積立金	○	B

款 4 地域支援事業費 項 1 地域支援事業費 目 1 地域支援事業費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	-	5,661
決算額	-	5,147

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,587	793	0	1,815	952
本年	-	-	-	-
前年	-	-	-	-

生活福祉チーム

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性
介護予防事業	2,916	介護予防の理念の普及のために、老人クラブ、サロン等頻回に地域を回ったが、一般高齢者に対する介護予防の意識の啓発が十分だったとは言いがたい。また、特定高齢者を見つけ出すためには、基本健康診査を受ける必要があるが、集団の健診を実施したにもかかわらず受診率のアップにつながらなかった。通所の介護予防事業は、好評であったが事業終了後のフォローが整備されていないのが課題である。また、地域の実態把握に関しては、相談を受けた方のみを終始してしまった	○	B



ご不明な点や詳しいことは、下記

までお問い合わせ下さい。

問合せ先：役場 総務課

電話 0596-58-8200

FAX 0596-58-4494

E-mail soumu-t@town.tamaki.lg.jp

